

【2日目】白馬鍾温泉からサブザック行動で行けるところまで行こう！

①まずは稜線へ

天候が安定している間にまずは登ります。ここに至るまでに、鎖場や滑りやすい岩場を通過しました。



②多くの登山者とすれ違います

人気の登山ルートということもあり、天候が心配される中でも多くの登山者に挨拶をしました。中には静岡県から来ているという登山者もいらっしゃいました。



③ 1年生は元気です

前回の夏山登山を欠席したため、今回が初めての宿泊山行という部員もいます。



④ 2年生は少ないですが元気です

ケガや体調不良で残念ながら参加できなかった部員もありますが、知識と経験で1年生をリードします。



⑤稜線に到着

眼下に白馬村が小さく見えます。ここから本格的な縦走を開始します。



⑥まずは白馬鑓ヶ岳を目指す

今回のプランでは、「最低でも白馬鑓ヶ岳、できれば杓子岳、欲を言えば白馬岳」というつもりで登ります。



⑦もうすぐ山頂

第1のピーク白馬鑓ヶ岳までもう少しです。



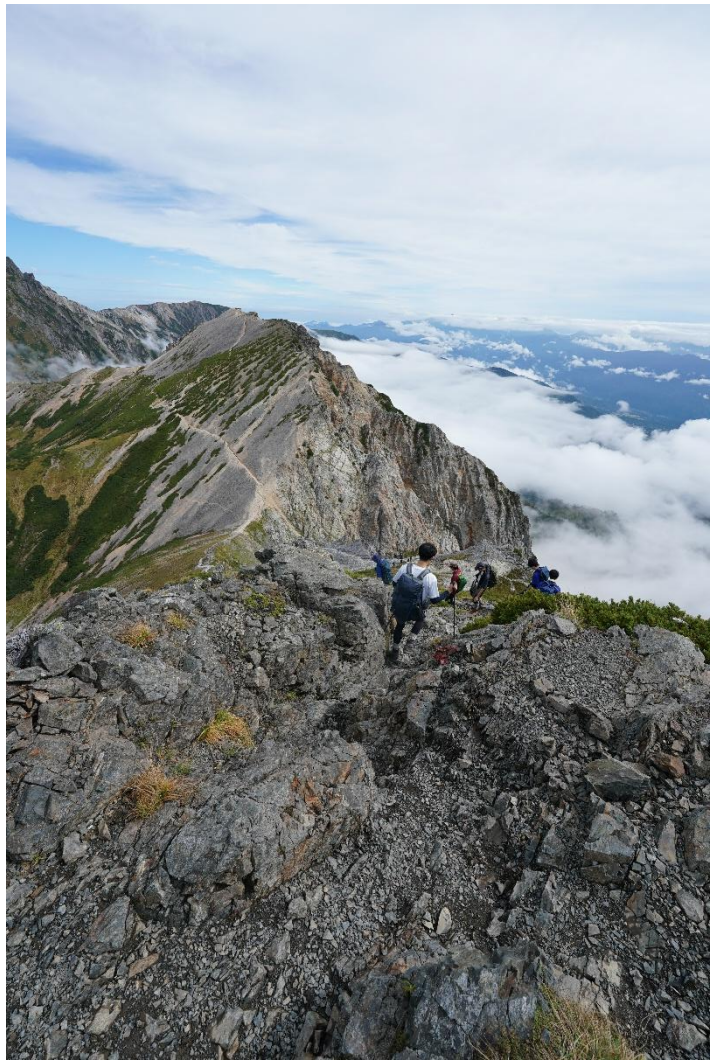
⑧白馬鑓ヶ岳からの展望

予想外に早いペースで歩くことができました。さらに天候も御覧のよう。ここから本格的にアップダウンを繰り返します。



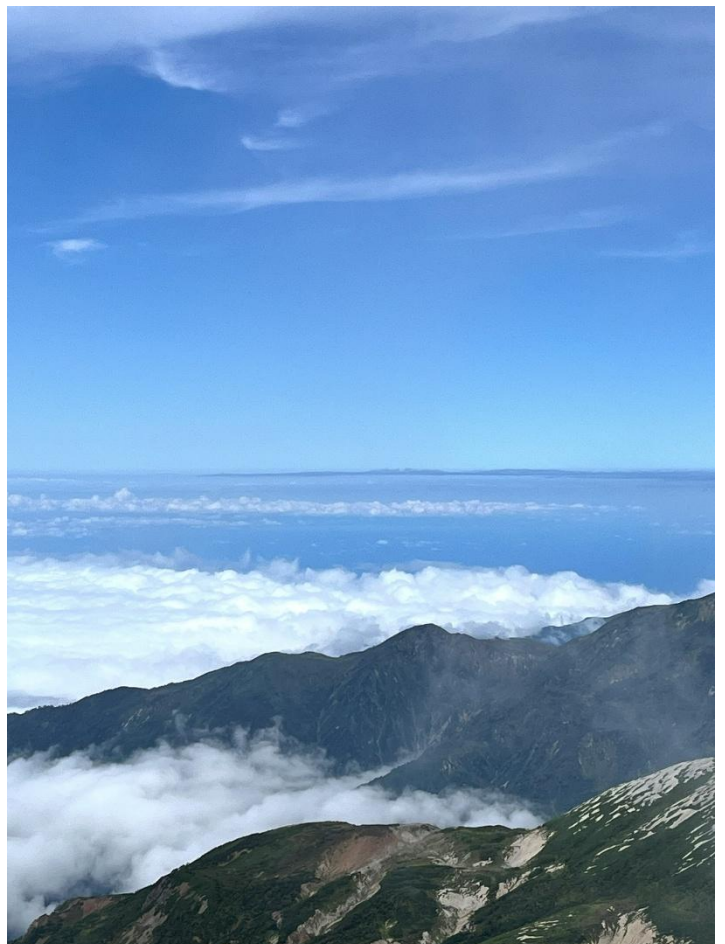
⑨それでは開始

写真で見ると案外簡単に行けそう
に見えてしまいますが、
かなりアップダウンがあります。
ここからまずは「杓子岳」を目指します。
この写真の時点ではスッキリ晴れています。
しかし実際「杓子岳」に着く頃には、
周囲は霧に覆われていました。
そのまま白馬岳に向かいましたが、
登っている最中も霧は晴れません。
集合写真も霧に覆われていますが、
実際のところ時々展望は一気に開けます。



⑩日本海を臨む

雲の切れ目から海が見えます。
ここは「白馬岳」山頂。
つまり、ほとんど富山県に近いところにいます。
当然日本海を見ることができます。
そして海の向こうには陸地が見えます。
最初は「能登半島かな？」と思いましたが、
どうも方角がおかしいです。
写真の奥の方に見えているのは、
なんと「佐渡島」です。



⑪白馬山荘で休憩

景色を楽しむのも束の間、我々は天気が崩れる前に白馬鎚温泉まで、これまで来た道をそのまま戻らねばなりません。しかしその前に休憩です。今回珍しい動物との遭遇は少なかったのですが、女子部員はライチョウを見ました。

顧問はこの後、
白馬山荘
付近で、
夏毛の茶色い
「オコジョ」
を目撃する
ことが
できました。



⑫白馬山荘にて

「高級」ラーメンやカレーを食べる。
写真の鳥は「イワヒバリ」です。

